



なでしこだより 6月号

●●ひとみ かがやく なでしこキッズ●●

ホームページアドレス <https://nadeshiko-yo.koto.ed.jp/>

令和8年5月28日
江東区立なでしこ幼稚園
園長 松岡克恵



園長 松岡克恵

「入れて」 「ダメよ」

紫陽花がポツポツと咲き始めました。今年は例年に比べ咲き始めが早かったように思います。寒暖差が激しく、湿度も高く、体調を崩しやすくなる季節です。何となく体がだるい、いつもと違うと感じたら早めに休息をとりたいたいものです。私は体調を崩しそうな時には、とにかく早く寝ることを心がけています。気になること、やるべきことは後回しにして「今日は寝る！寝る！寝る！」と自分に唱えて睡眠をとるようにしています。

さて、子どもたちのお家ごっこの中でもお母さん役のこどもが「もう夜ですよ。早く寝なさい」と声をかける場面を見かけます。そんなお家ごっこをしているところへ、Aちゃんが「入れて」と来ました。でも「ダメよ」と言われてしまいました。理由を聞いてみると「だって……。お家が狭いからもう入れない」という答え。「じゃあこの隣に、積み木を運んできてAちゃんの部屋を作るのはどう？」と教師が聞いてみると「それなら、いいよ」と答え、家族が増え、お家ごっこ続きました。さて、「入れて」「ダメよ」は意地悪なのでしょうが？幼稚園では「Aちゃんが入りたがっているから入れてあげなさい」という指導はしていません。双方の思いを聞き、どうしても折り合いがつかない時は「今は、ダメなんだって」と教師が言葉を添え、入りたい遊びに入れられないこともあります。思い通りにならなかった時、怒るのではなく気持ちのコントロールをすること、相手の気持ちも理解しようとする、また、「ダメ」と言ってしまったこどもも「やっぱり入れてあげればよかったかな……」「でも、今は入れたくない」そんな気持ちが揺れ動いていることでしょう。幼稚園は様々な感情を味わえる場です。その中でたくさんのかんじを学んでいます。



それではこんな場面はどうでしょうか。何の理由もなく（理由がないように見える）突然「こっち来るな！」「キモイ」「ウザイ！」と言ってしまふ。最近ではSNSの影響もあってか、数年前は幼児が使わないような言葉を耳にすることがあり、心が痛くなります。自分が不快に感じたことを表現できずに覚えた言葉を遣ってしまう、相手と何となくウマがあわない等、理由は様々だと思いますが、幼児であれ、聞いた言葉をそのまま遣っているだけであっても「言っはいけないこと」はあります。幼稚園は「楽しい！」「面白い！」という体験がほとんどですが、「困った」「どうしよう」「上手くいかない」という体験もしています。その中で「自分で考える力」「人と関わる力」「自分の思いを素直に表現する力」を育てています。

最近、闇バイト、トクリュウ（匿名・流動型犯罪グループ）、犯罪の低年齢化などの言葉を耳にします。目の前にいる、屈託ない表情で笑うこどもたち、全身を使って思いきり遊ぶこどもたちの10年後。変化が激しい昨今です。どんな社会になっているのか、どんな問題が起きているのか……。想像が付きません。自分の気持ちを言葉で伝えられること、相手の気持ちや「これをやったらどうなるか」が想像できることはとても大切だと感じます。私がこどもの頃よく耳にした「お天道様が見ているよ」という言葉を最近聞かなくなりました。善悪、真偽を自分に問う時間が今は少なくなっているように思います。

幼児期から育みたい力は確かにあります。そのことを意識しながら、毎日の生活を楽しめるように援助していきます。